

# 一般財団法人水原フィラテリー財団

## 2018年度事業報告書

2018(平成30)年4月1日～2019(平成31)年3月31日

〔概要〕2018年4月1日に法人名称を「一般財団法人切手の博物館」から「一般財団法人水原フィラテリー財団」に変更しました。郵便切手文化の普及と振興に寄与する公益的活動を行なっていくうえで、博物館事業とともに郵趣助成事業をさらに推進していくことを、一層明確にすることがその理由です。「切手の博物館」の名称商標登録については出願中です。

※2019年3月の第16回理事会にて、2019-2020年度委員会委員及び登録鑑定士を改選任しました。

### I. 継続事業

#### 1. 資料の収集、保管、公開

郵便切手類及び郵便切手関連資料を収集、保管するとともに、展覧施設「切手の博物館」の展示室、図書閲覧室において公開しました。

##### (1) 資料の収集・保存管理

- ①日本及び世界各国の新切手を常時購入し、発行国別・地域別にレファレンス・コレクションとして整理・管理を行っています。
- ②図書収蔵委員会を月1回開催し、郵便切手関連資料の購入検討、新規受入図書の項目別クロス・インデックス作り及び収蔵図書の件名統一を続けています。
- ③郵趣文献類については、34名の方から368冊（単行本176冊、雑誌192冊）が寄贈されました。（公財）日本郵趣協会（以下(公財)略）及び(株)日本郵趣出版発行の全刊行物、並びに郵趣団体発行の支部報や雑誌の寄贈も受けています。
- ④東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会をレガシーとして未来に継続していくため、東京2020大会に関する郵便切手類を収集・保存しています。

##### (2) 企画展示・特別展示の開催

展覧施設「切手の博物館」において、以下の展覧会を開催しました。

##### ①企画展示

1階展示室で、3ヵ月ごとにテーマを替えて行いました。展示内容及び広報については、企画展示委員会において協議しています。

会期	展覧会名	開館日数	観覧者数(名)
4月4日(水)～7月1日(日)	チクタク・チクタクー時を刻むー	75	2,954
7月4日(水)～9月30日(日)	世界の鉄道 ー線路はつづくよ目白までー	79	3,729
10月3日(水)～12月27日(木)	フクロウと仲間たち	75	3,791
1月5日(土)～3月31日(日)	再結成！切手のオーケストラ	74	2,970
合計		303	13,444

## ②特別展示

○3階展示室で、有料展を次の通り開催しました。

会 期	展 覧 会 名	開館日数	観覧者数(名)
4月18日(水)～4月24日(火)	日本の郵便と歩んだ井出家五代 —地方郵便史の発掘—	6	827
7月21日(土)～8月23日(木)	きて★みて★きって2018	29	1,024
12月1日(土)～12月25日(火) ※12月24(月・振休)臨時開館	切手の博物館のクリスマス	20	1,201
合 計		55	3,052

○3階展示室で、無料展を次の通り開催しました。

9月8日(土)～9月16日(日)…第16回切手はり絵コンテスト作品展

※以下の期日に豊島郵便局が臨時出張所を開設、小型印の押印サービスを実施しました。

5月18日(土)…国際博物館の日

6月10日(日)…時の記念日

11月23日(金・祝)…「フクロウと仲間たち」展

12月8日(土)・20日(木)～25日(火)…切手の博物館のクリスマス

2019年2月14日(木)…切手の博物館♥St.Valentine's Day

## (3) 蔵書の公開

「切手の博物館」図書閲覧室では、蔵書を開架図書と閉架図書に区分し、一般の利用に供しています。閉架図書の利用は41名、180冊でした。

## (4) 入館料の特典

「切手の博物館」の入館料に以下の特典を設けました。

①毎月23日・ふみの日(4月・9月は休館日に当たるため24日(火))の入館料無料。

②厚生労働省が推進する「児童福祉週間」(5月3日(木・祝)～5月6日(日))の小中学生入館料無料。(小中学生の入館者数27名)

③国際博物館会議(ICOM)及び(公財)日本博物館協会(以下(公財)略)が提唱する第16回「国際博物館の日」(5月18日(金))の入館料無料。(入館者数184名)

④バレンタインデー(2月14日(木))の女性の入館料無料。(女性の入館者数83名)

## 2. 展覧施設(切手の博物館)の運営管理

### (1) 来館者サービス

「切手の博物館」の来館者の満足度を高めるために、以下のサービスを提供しました。

①1階のパソコン・コーナーでは、企画展示のテーマに合わせて全国の風景印を紹介するほか、切手の博物館のホームページの閲覧サービスを提供。

②展示の観覧を助けるルーペの常設及びハンドライトの貸出し。(貸出人数133名)

③図書閲覧室では、国内外の新刊本・話題本などを紹介すると同時に、一部の書籍を販売。また、コピーサービスを提供。(コピー利用人数118名)

- ④すべての企画展示で、ホームページにプレゼント・クーポンを付けました。(交換人数588名)
- ⑤来館のたびにスタンプを押し、一定の数になるとプレゼントと交換できる「ウェルカム・カード」を発行。(プレゼントとの交換人数153名)
- ⑥小中学生向けに、展示を見て答える「切手クイズ」を実施。(参加者950名)
- ⑦来館記念写真が撮れるように、展示に即した「フォト・スポット」を設置。
- ⑧切手の博物館のイベント案内や新切手の発行案内などを掲載した情報チラシ「MAYっこ」を、毎月1回、ふみの日(23日)に発行。
- ⑨1・2階の入館料を日本の未使用切手で支払えるサービスを実施。(利用人数712名)
- ⑩1・2階の入館を対象とした「年間パスポート」を発行。(新規発行152名、期末在籍数160名)
- ⑪英文パンフレットの配布。
- ⑫公衆無線LAN「Wi-Fi」サービスの実施。

## (2) 記念品の頒布

「切手の博物館」の来館記念品として、日本及び世界各国の郵便切手類並びにスーベニアグッズを販売しています。

## (3) 市民参画

- ①切手の博物館メンバー「MAY(メイ)」の会員を引き続き募集し、会員にはメンバーニュース「MAY」及び「受入図書リスト」を配布しました。期末の会員数は79名で、内訳はM(メジャー)メンバー53名、A(アシスト)メンバー26名、Y(ヤング)メンバー0名です。
- ②切手はり絵(切手の博物館内・出張)及び切手たんけん隊の補助役として、登録ボランティア制度を設けています。(期末登録者数5名)
- ③切手はり絵に使用する切手の区分には、一般ボランティア延べ49名の協力を得ました。また、近隣の高等学校ボランティア部活動を受け入れ、切手の区分などを実施しました(5回)。

## 3. 普及啓発事業

### (1) 施設内活動

郵便切手文化に触れる楽しみを広げ、理解を深めてもらうために、「切手の博物館」館内で以下の活動を実施しました。

- ①展覧会に即したギャラリートーク(展示解説)等を開催。
  - 「世界の鉄道」展…鉄道写真家・櫻井寛氏によるトークショー、参加29名
  - 「切手の博物館のクリスマス」…展示協力者・木村正裕氏によるギャラリートーク、参加20名
  - 「再結成!切手のオーケストラ」展…日本郵趣協会音楽切手研究会・中館輝厚氏によるギャラリートーク、参加20名
- ②各種のワークショップ及び体験イベントを開催。
  - 体験!切手はり絵…毎月第3日曜日、参加者266名
  - ちょっとだけ体験!切手はり絵…平日(火曜~金曜)、参加者39名
  - 世界の切手でカード&しおり作り…11月23日(金・祝)・2月14日(木)、参加者67名

- 切手たんけん隊… 8月土曜日(4回)、参加者25名
- ③「国際博物館の日」(5月18日)記念事業を開催。
  - 学芸員によるギャラリートーク…参加者10名
  - 世界の切手でしおり作り…参加20名
- ④日本郵便(株)の切手デザイナー(山田泰子氏)とのコラボレーションによる手紙振興イベントを、特別展示「切手の博物館のクリスマス」と連動して開催。
  - 小型印(4種)の原図及びオリジナルポストカード(1種)の原図提供
  - スペシャルトーク…12月23日(日)、参加者49名
- ⑤企画展示・全展示(4回)に来館して完集するスタンプラリー「田型にPON!」を実施。(プレゼント交換:年間パスポート126名、クリアファイル52名)
- ⑥日本郵趣協会主催「スタンプショウ2018」のスタンプラリーとコラボして、「切手の博物館でスタンプを押して記念品プレゼント」を実施。(4月20日~4月29日、プレゼント93名)
- ⑦日本郵趣協会主催・当財団協賛の「ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2018」及び第3回切手フェスタ(切手フェスタ実行委員会)に、切手はり絵ワークショップの材料提供。
- ⑧近隣の小学校(川村学園、目白小)の校外学習及び子どもサークルの体験学習を受入れ。
- ⑨2019年用年賀はがきの『裏話』を1階エントランス壁面にてパネル展示。

## (2) 施設外活動

以下の活動を通じて、広く社会一般に郵便切手文化についての知識を広め、興味を育む活動を行なっています。

- ①豊島区の「子どもスキップ」(放課後児童施設)において、「出張切手はり絵」を2回開催(参加者31名)。また、切手はり絵ワークショップの材料を17施設に提供。
- ②近隣の中学高校(豊島岡女子学園)の学園祭(11月3日~4日)において、切手はり絵作品を出張展示。
- ③日本郵趣協会主催の全国切手展「JAPEX2018」(11月16日~18日)の企画展「日仏交流160周年フランス切手展」に、フランス美術切手コレクションを出張展示。
- ④日本郵趣協会が行っている「切手趣味週間 春の全国ミニ切手展」キャンペーンに協力し、全国の博物館など22ヵ所でミニ切手展を開催。
- ⑤郵便切手文化に関する出版物「切手もの知りBOOK」を1月に刊行、全国の図書館での購入・配備は約650冊。
- ⑥日本郵趣協会の社会貢献事業「手紙を書こう!プロジェクト2018」を協働して推進。
- ⑦前出の「ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2018」のコンクール審査に審査員1名を派遣。
- ⑧郵便切手に関する国際文化交流事業を支援。

## (3) 広報活動

- ①切手の博物館で開催の展覧会及び「体験!切手はり絵」をPRするチラシ等を作成し、近隣の施設、小学校などに配布しました。
- ②切手の博物館の企画展示、特別展示、イベントなどの情報を、ホームページ、フェイスブック、ツイッターを通じて発信しました。また、これらの情報をマスコミ各社(新聞・ラジオ・テレビ・出版社・Webサイトなど)及び関連施設(大学、団体、店舗など)へ広報しま

した。

- ③切手などに関するマスコミの照会・取材、また単行本や学習教材の挿絵用に切手を使いたいという申込みに、積極的に応じています。
- ④「郵趣」などの郵便切手文化の専門誌において切手の博物館の企画展示、特別展示などを案内するほか、日本郵趣協会主催の展覧会に協力するなど、広報に努めました。
- ⑤切手の博物館だより「MAYっこ」を1ヵ月に1回、豊島区の「子どもスキップ」などに送り、地域への広報に努めています。
- ⑥切手の博物館の入館料割引引換券の目白駅での常置や、(公財)日本野鳥の会などの団体の会員特典に協力したり、「さくら日本切手カタログ」に入館無料クーポンを付けるなど、来館者促進を企図しました。
- ⑦日本郵趣協会が発行する切手カタログなどに図版を提供し、専門出版物において財団名をPRしました。

#### (4) 他館との交流

- ①京都外語大学学園創立70周年記念展「切手が語る歴史と文化」(2018年2月17日～4月14日)にて、世界の指導者を描いた小型シート1点を貸し出しました。
- ②第66回全国博物館大会(東京大会)に協力、大会参加者の入館料を無料としました。(11月28日～12月2日、入館実績1名)

### 4. 学術調査研究事業

#### (1) 調査研究

- ①紀要編集委員会の査読を経て、研究者の調査研究成果を取りまとめた「切手の博物館研究紀要」(第15号)を発行しました。
- ②日本博物館協会主催の全国博物館長会議、東京都博物館協議会総会・日本博物館協会東京支部総会及び研修会に出席し、他館との交流を図るとともに、学術調査研究事業の質的向上に努めています。
- ③科学研究費補助金の指定研究機関として、体制整備等自己評価チェックリストの提出など諸手続きを行っています。

#### (2) 鑑定

日本郵便切手類の真贋の鑑定を鑑定委員会のもとに行い、71点の鑑定書を発行しました。

### 5. 顕彰事業

「第16回切手はり絵コンテスト」を開催しました。「きて★みて★きって2018」期間中に作品募集を行い、全応募作品287点を切手の博物館において展示するとともに、優秀作品には賞状並びに記念品を授与しました(特別審査員:谷輪保賢<sup>たにわやすたか</sup> 昭和鉄道高校教諭)。

### 6. 文化支援・助成事業

#### (1) 文化支援

- ①郵便切手文化活動の支援の場として、「切手バザール」(8回)及び「Otegamiフリマ」(日本

郵趣協会と共催、4回)を開催しました。「Otegamiフリマ」では豊島郵便局が臨時出張所を開設、小型印の押印サービスを実施しました。

②日本郵趣協会主催の学術調査研究発表会などに3階展示室を提供し、公益活動を支援しました。

## (2) 助成

①郵便切手文化の振興を図るため、日本郵趣協会主催の展覧会において、特別賞を寄贈しました(2件)。

②郵便切手に関する書籍・カタログ(6件)、展示備品の整備及び国際文化交流事業に対して、費用の一部を助成しました。

③博物館の社会貢献活動の一つとして、1階エントランスに専用ボックスを置いて紙付き古切手の寄付を募り、集まった古切手は公益法人等に寄贈する活動を続けています。

## II. その他事業

鑑賞・収集の対象となる日本及び世界各国の郵便切手類を、ミュージアム・ショップにて受託販売しています。

## 附属明細書(事業報告関係)

補足すべき重要な事項はないため、附属明細書は省略する。